

[ カレッジ・はなみづき ] 新聞

第60号 H.27.6.12.

発行 「カレッジ・はなみづき」

スケジュールに組み入れた。毎月活動していると過ぎたことは忘れ勝ちで、1年を振り返る意味でもいい機会になる資料を読み返し、写真を見ながら、あんなこともある。た、こんな事も勉強したと思興しく嬉しくなる。それらを如何に端的に表現して見る人の心を惹きつけるか、並んだパネルに統一感が出るよう一定のルールを決めた上、夫々の班が思い思ひに工夫する。行事毎に撮りためた写真あり、関連の資料あり、はなみづきの花や鳥を切り抜いて貼つたり、得意分野を活かして細工し、なかなか



《第十回公民館まつり》

準備作業

の出来栄えである。皆で協力し合う事で自分達の会だという意識が高まる。展示パネルを見て関心を持ち入会された方も多い。制作に力が入る。

参考記録 文責 山田寿

藤中会員  
からパネル1  
くパネル5ま  
での作成の資  
料を各班毎に  
頂く。始めに  
何処にどの資  
料を置くか皆で話合つた。左  
右、上下に移動してみたり、  
から出してもらった資料。来  
場の方にも分りやすいよう  
はなみづきの花を貼つたりし  
た。お昼を食  
べ、最後の仕  
上げをし、マ  
ジックで区切  
りを入れ分け  
やすくした。  
昨年より早く





仕上がった。沼南公民館まつりに飾る「ひょうたん」を渡し帰った。三森会員には毎年「はなみづき」の紹介を書いて頂き有難うございます。

『第十一回 沼南公民館まつり』

五月二十九日(金)一年間の成果を発表する公民館まつりを迎えた。前日に有志が集まって前回皆で制作したパネルをボードに貼り、花を飾りつけ、前面のテーブルに手工芸で制作した「ひょうたん」を並べる。又、夫々の講座内容を記した資料を冊子にまとめ手に持つてご覧くださいと表示した。本来は当番を置いて説明すれば良いのだが、そこまでは出来ず、なるべく足を運んで見に来た方に話しかけるように心掛けたい。いよいよ本番の公民館まつりを迎える。今回前面に写真ク



ないけれど、関心のある方は熱心に見て感想ノートに記入して下さった。＊手書き、手作りの作品達、心温まる気持ちになつた。＊いつも研究熱心で素晴らしい。とか書かれていた。唯一一つ気になつたのは、この会は何をする会ですかと聞かれた事。云われてみればあまりにも盛り沢山の行事を、雑然と書き込み、「こちやんちや」といて焦点が定まつていない。自分よがりの展示になつてしまつたのではないか。どうすればすつきりと分り易くなるか反省して来年度に備えなくてはと思う。それにつけても来年「公民館まつり」は開催出来るのかしら?